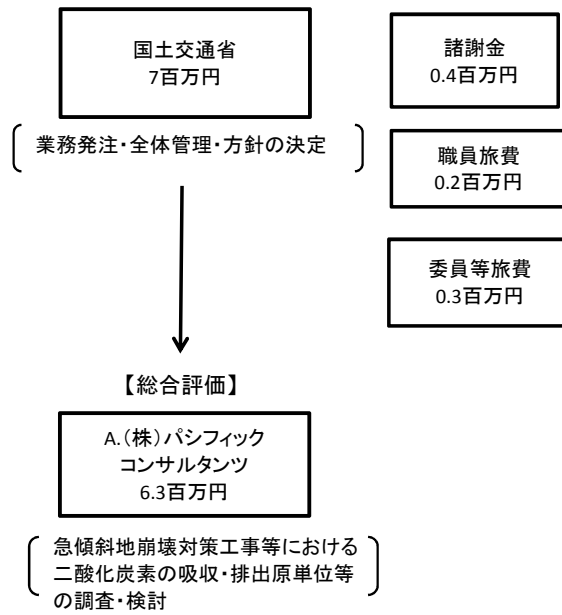


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	低炭素型工事等検討経費		<b>担当部局庁</b>	水管理・国土保全局砂防部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H21/H22		<b>担当課室</b>	保全課		課長 大野 宏之		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	二酸化炭素排出増加による地球温暖化が指摘される中、土砂災害防止工事においても可能な限り二酸化炭素の排出を抑制することが求められていることから、二酸化炭素排出量削減への取り組みの推進を目的としている。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	土砂災害防止工事において、使用する材料の製造過程や工事などで排出する二酸化炭素を定量的に算出する。算出結果を用いて、擁壁などの構造や工法の違いによる二酸化炭素の排出量を比較・評価する方法を確立する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	10	8	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	10	8	-	-	
	執行額		10	6				
執行率 (%)			98%	79%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	土砂災害防止工事において、二酸化炭素排出量算定手法の検討等に資する経費であるため、事前に成果目標及び成果実績を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	土砂災害防止工事における二酸化炭素排出量排出量算定手法		活動実績 (当初見込み)	百万円		一式	一式	-
							( )	
<b>単位当たりコスト</b>	H22 8.3(百万円/一式)		算出根拠	土砂災害防止工事における二酸化炭素排出量算出手法の検討のための資料収集及びCO2排出量算定シートの作成等に要した経費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	限られた予算の中でより効率的な検討を行った結果、適切な成果を得ることが出来た。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ③ ⑧	<p>廃止 ③ ⑧</p> <p>昨年度の行政事業レビューで廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	平成22年度 急傾斜地崩壊対策事業等における二酸化炭素排出	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パンフィックコンサルタント(株)	土砂災害防止工事において、使用する材料の製造過程や工事などで排出する二酸化炭素を定量的に算出する。算出結果を用いて、擁壁などの構造や工法の違いによる二酸化炭素の排出量を比較・評価する方法を確立する。	6	1	89%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					